

授業科目	ウイメンズヘルス看護論				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	NU31501J		
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1			
担当教員	田中 満由美、山田 恵、古賀 玉緒、前田 幸							
授業概要	生物学的・社会的性差が心身の健康に大きな影響を与えることから、性差を考慮した対応が必要とされている。本講義では、女性の健康を、医学だけでなく、経済、政治、文化なども含めて包括的に捉え、生涯(思春期・成熟期・更年期・老年期)にわたる女性の健康の向上、および女性の QOL の向上をめざす看護援助方法を考察する。							
学生が達成すべき行動目標	1. リプロダクティブヘルス/ライツから見た女性の健康に関する課題について、自己の考えを述べることができる。 2. ライフサイクルから見た女性の健康に関する課題について、自己の考えを述べることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	90	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			30				30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			30	10			40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			30				30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
女性の健康を様々な視点から深く捉え、自分の興味、関心、意欲のあるテーマについてレポートにまとめ、文献からの考察及び自分の考えを表現できる。				女性の健康を様々な視点から捉え、自分の興味、関心、意欲のあるテーマについてレポートにまとめ、自分の考えを表現できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	まざまなテーマの中から、一つ選択し教科書及びその他の文献をもとにレポートにまとめ、発表する。個人ワークの演習方法についてはオリエンテーションする。			オリエンテーション ・授業の進め方 ・レポートまとめ		予習:興味・関心のあるテーマを決定して参加すること。 担当教員決定後、担当教員に		60

	<p>〈課題のテーマ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の健康と歴史 ・世界の女性問題の動向 ・多様な性と健康問題 ・性感染症と女性 ・家族計画と避妊 ・リプロダクティブヘルス/ライツ ・家族の機能等 ・女 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションについて ・担当教員について ・個人ワークの方法等 	<p>2回目開始時に課題を決定し方向性を明らかにする。</p> <p>復習：該当部分を参考図書や図書館を利用し活用する。</p>	
2	<p>個人ワーク、担当教員との面接 (田中満由美・古賀玉緒・山田恵・前田幸・未定)</p> <p>課題のテーマと今後の方向性・計画を担当教員に報告・相談する。課題に関する先行研究・文献などを収集し、書かれている内容について把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員と進捗確認 ・個人ワーク 	<p>予習・復習：担当教員に進捗状況を相談し、該当部分を参考図書や図書館を利用し活用する。</p> <p>進捗状況についてはレポートにまとめ提出する。</p>	60
3	<p>個人ワーク 担当教員面接 (田中満由美・古賀玉緒・山田恵・前田幸・未定)</p> <p>各自レポート作成に向けて学習を進める。担当教員に進捗状況を報告し、助言を得る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員と進捗確認 ・個人ワーク 	<p>予習・復習：担当教員に進捗状況を相談し、該当部分を参考図書や図書館を利用し活用する。</p> <p>進捗状況についてはレポートにまとめ提出する。</p>	60
4	<p>個人ワーク 担当教員面接 (田中満由美・古賀玉緒・山田恵・前田幸・未定)</p> <p>各自レポート作成に向けて学習を進める。担当教員に進捗状況を報告し、助言を得る。助言内容を活かし、修正・追加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員と進捗確認 ・個人ワーク 	<p>予習・復習：担当教員に進捗状況を相談し、該当部分を参考図書や図書館を利用し活用する。</p> <p>進捗状況についてはレポートにまとめ提出する。</p>	60
5	<p>個人ワーク 担当教員面接 (田中満由美・古賀玉緒・山田恵・前田幸・未定)</p> <p>継続して各自レポート作成を進める。担当教員に進捗状況を報告し、助言を得る。助言内容を活かし、修正・追加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員と進捗確認 ・レポート作成の準備 	<p>予習・復習：担当教員に進捗状況を相談し、該当部分を参考図書や図書館を利用し活用する。</p>	60
6	<p>個人ワーク 担当教員面接 (田中満由美・古賀玉緒・山田恵・前田幸・未定)</p> <p>レポート内容(テーマと内容の整合性、体裁など)を見直し、修正する。発表の準備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員と進捗確認 ・プレゼンテーションの準備 	<p>予習・復習：担当教員に進捗状況を相談し、レポート完成の準備を行う。</p> <p>レポート提出日、時間を厳守する。</p>	60
7	<p>課題発表 (田中満由美・古賀玉緒・山田恵・前田幸・未定)</p> <p>課題の発表 意見交換 まとめ</p>	<p>プレゼンテーション ディスカッション・質疑応答 まとめ</p>	<p>予習・復習：ディスカッションで共有した内容について教科書やその他の資料から学びを深める。</p>	60
8	<p>課題発表 (田中満由美・古賀玉緒・山田恵・前田幸・未定)</p> <p>課題の発表 意見交換 まとめ</p>	<p>プレゼンテーション ディスカッション・質疑応答 まとめ</p>	<p>予習・復習：ディスカッションで共有した内容について教科書やその他の資料から学びを深める。</p>	60
9				
10				
11				

12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃から女性の健康を、医学だけでなく、経済、政治、文化などの情報に興味を持ち資料を収集しておいてください。			
テキスト	特に定めない			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	女性のライフサイクルとナーシングー女性の生涯発達と看護（ウイメンズヘルスナーシング）高橋真理、村本淳子編 ヌーベルヒロカワ ウイメンズヘルスナーシング概論-女性の健康と看護-第2版 村本淳子、高橋真理編 ヌーベルヒロカワ ※必要時、資料を配付する			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	看護学科カリキュラムの主要な柱の一つとして位置づけられる「女性の健康促進を支援」に関連する科目です。母性看護、総合人間科目の「ジェンダー論」、看護実践の充実の「遺伝看護学」など関連づけて学び、自分自身の健康にも目を向け、考えを深めていくことを期待します。 助産(師)に関連する内容に興味がある方は積極的に受講してください。
達成度評価に関するコメント	レポートの詳細や個人ワーク、プレゼンテーションについては、授業の初日に説明します。休まないよう注意してください。